

◆参加報告◆

研修会参加記

糸原良典

4月に日本赤十字社長崎県支部に採用をいただき、長崎原爆病院で働き始めて3ヶ月半が経過しました。最初の仕事の一つとして図書の仕事に任され、今回できるだけ図書業務について理解を深めようと思い参加しました。

私は図書室運営についての知識が全くなく、不安もありましたが、今回の研修では「新任者にも分かりやすい図書業務」がテーマということで、私のような境遇の方が多く、一から学べるのだと考えていました。実際参加してみると、知識・経験の豊富な方が多く、そのレベルの高さに驚かされました。参加者の中で私一人だけが男性ということもあり、最初は焦りました。ですが、休憩中や他の方との交流の時間に、向こうから声をかけてくださったり、質問に対して親身になって答えてくださる方がいて、親睦を深めることができました。それと同時に、会員間のつながりができたと思い、この研修に参加してよかったと実感しました。

しかし、分からない単語も多く、2日間では飲み込めない内容であったとも感じました。やはり図書の担当となったからには、しっかりと下準備をしておく必要があったと思

います。重要な単語は覚えておき、分からない部分を質問事項としてまとめ、当院の図書運営の現状を把握しておくべきでした。

この研修で特に学んでおきたいと考えていたものは相互貸借です。当院では相互貸借の実績がなく、私もその用語自体初めて聞いたものであったため、流れをまず知っておこうと思いました。研修に参加する前は、書籍の貸し借りが容易に行えれば簡単に図書費の削減ができるのではないかという認識でした。しかし課題を考えると、著作権の問題や至急の依頼に限界があること、相互貸借に供することができるのは明確な規約に沿った施設のみであることなどが分かりました。

この2日間で理解できたこともありましたが、多くはまだよく分かっていないことばかりです。まずは自分自身がもっと勉強しなければなりません。図書業務についてよく理解した上でなければ、相互貸借などの新しい取り組みも始めることはできないと感じました。今回の研修で、分からないことがあればいつでも相談してと言ってくくださる方がいて、本当にありがたいと思いました。その他多くの方にも大変お世話になりました。今後ともよろしく願いいたします。

ITOHARA Yoshinori

日本赤十字社長崎原爆病院 用度施設課 主事